

# YOSANO No.18

広報よさの

特集

## 行政改革大綱中間案意見募集



2007

8

●今月の表紙  
夏休みの三河内小学校プール  
(7月26日撮影)

広報よさの 8 2007 No.18

発行：与謝野町役場 編集：企画財政課  
住所：〒629-2992 京都府与謝郡与謝野町字岩瀬1798番地1

TEL：0772-46-3084(直通)  
FAX：0772-46-4630

URL：http://www.town.yosano.lg.jp/  
E-mail：kk.akuzaisei@town.yosano.lg.jp

↓意見交換は太田町長を取り囲んで行われました



## トピックス 加悦谷高生との対話授業 若者の声をまちづくりに

現在、与謝野町では今後十年間のまちづくりの指針となる「与謝野町総合計画」の策定を、住民の皆さんと行政の協働により、「みんなの計画」「ひろがる計画」「できる計画」を目指し、進めているところです。

計画の大きな目的の一つとして、「住民との協働」による計画づくりをコンセプトとしており、「次代を担う高校生の方々の考え方や、今後の与謝野町に対する思いを直接聞きたい」という太田町長の思いが実現し、加悦谷高校の生徒との対話授業が七月二十日、加悦谷高校で行われました。

生徒会長をはじめ、一年生から三年生までの二十九人が参加し、最初に、町長から合併に至る経緯、総合計画の策定意義やその目的、まちづくりの考え方についての説明があり、高校生たちは耳を傾けました。

続く意見交換では、▽公共施設の利用方法▽サイクリングロードの管理▽公共交通のあり方▽クマやイノシシなどの有害鳥獣対策▽災害対策▽地域情報化など幅広い意見や質問が出されました。

また、町長が「意見交換の参考にお願した事前アンケートでは、自

然を多く残してほしいという意見と娯楽施設やショッピングセンターがほしいと相反する意見があったが、どちらを望むか」と尋ねると、「中途半端な開発より、自然が大切」などと熱心な意見交換が行われました。

「町が抱えている様々な問題を、高校生は高校生の目線で捉えていて頼もしい」と話す町長。この授業で出た意見は、高校生の「生の声」として、総合計画に生かされます。

授業の終わりには、町長から高校生へ「まちを生かすも殺すも、そのまちに住む人たちの考え次第。老いているから、若いから、男性、女性には関係ない。『まちづくりの主人公』は住民の方々すべて。人が輝けば、まちも輝く。そんなことをいつか町長が言っていたなと、頭の隅に置いてほしい」とメッセージが送られました。

↓まちづくりの考え方について説明する太田町長



# 行政改革大綱 中間案意見募集

## 1,000,000,000円

この数字は、一般会計で平成20年度から平成23年度までの4年間で見込まれる収支不足の金額です。この危機的状況を解決すべく行政改革推進委員会の皆さんがまとめた行政改革大綱中間案を公表します。皆さんの意見をぜひお聞かせください。

特集



←行政改革委員会の会議の様子。12回の委員会と3回の勉強会を重ね、行政改革大綱（中間案）を策定しました

### 経過と方針

町は、昨年七月に民間委員九人による与謝野町行政改革推進委員会を設置し、「与謝野町行政改革大綱」の策定を諮問しました。

これを受けて委員会は、これまでに十二回に及ぶ委員会と三回の勉強会を重ね、与謝野町の現状、財政状況、税等の収納状況、施設状況、職員数などを分析し、このたび行政改革大綱（中間案）を策定しました。行政改革が実施されると、住民の皆さんの生活に大きな影響をあたえることから、この中間案を皆さんに公表し、意見を募集することになりました。大綱策定に当たり、「効率的な行政システムの確立と持続可能な行政運営」を基本理念とし、歳入の確保は大切なことですが、まずは「無駄な歳出の徹底した削減」を基本方針にし

ています。その歳出削減の重点は、人件費です。次に公共施設の統廃合で、特に九校の小学校と十カ所の幼稚園・保育所（園）の統廃合を求めています。行政改革大綱の主な内容は次のとおりです。

- ◆行政改革大綱の計画期間  
平成二十年度から二十四年度までの五年間
- ◆行政改革大綱の目標  
約二十億円の行革効果創出
- ◆経常収支比率を90%以下
- ◆行政改革大綱の方策  
・職員数の削減と給与の抑制  
・公共施設の統廃合  
・業務の民間委託  
・事務事業の縮小と資源の集中
- ・自助・共助の促進
- ・税源の涵養
- ・都市計画の検討
- ・施設利用料の検討 など

具体的な行政改革の内容は、

委員会から町に大綱を答申した後、町が大綱実施項目として策定する予定です。

### 行政改革大綱の策定背景

町の財政は、合併前年度の平成十七年度の一般会計の決算では、二千五百十八万円の赤字決算となっています。しかしながら、財政調整基金から五億三千八百九十九万円を取り崩して帳尻を合わせており、また、一般会計の借金残額は百三十七億円余りもあります（全会計を合わせると二百九十七億円余り）。

さらに、合併後の十年間の財政見直しによると、平成二十年度から平成二十三年度までの四年間で約十億円の収支不足が見込まれており、また平成十九年度当初予算では、収支不足を補うために財政調整基金を二億円取り崩しています。合併は、財政の窮状からスタ

ートし、合併すればなんとかなるような雰囲気がありました。国の三位一体の改革などが想定以上に厳しいものとなっており、合併しても旧町のままの事業をそのまま引き継いでいる状況では、持続的な行政の運営は不可能な状況にあります。

公表に併せて行政改革大綱の中間案に対する意見を次のとおり募集しますので、皆さんの意見をお聞かせください。

### 中間案の公表と意見募集（パブリックコメント）

行政改革大綱の中間案は各庁舎の地域振興課で閲覧できます。また、与謝野町ホームページにも掲載していますので、ご覧

◆募集方法  
住所、氏名、電話番号、ご意見（ご提案）を明記して、郵送、ファックス、電子メール（添付ファイルによる提出はご遠慮願います）で、行革委員会事務局（企画財政課内）宛て、または直接各地域振興課へご持参くだ

◆問い合わせ等  
行革委員会事務局（企画財政課内）  
電話（46）3084  
ファックス（46）4630  
メール ikakuzaisai@town.yosanoh.jp

### 与謝野町行政改革推進委員会

会長	伊達 善弘 (石川)
会長代理	青木 順一 (温江)
委員	小牧 義昭 (加悦奥)
委員	西原 素子 (与謝)
委員	為村 恵美子 (男山)
委員	西川 明宏 (岩滝)
委員	廣野 秀和 (弓木)
委員	小西 順子 (下山田)
委員	岡田 攻 (三河内)

(敬称略・順不同)

### ●行政改革推進委員会とは…

行政改革推進委員会は、社会経済情勢の変化に対応した効率的な町行政の推進を図るため、町の条例により設置することとなっています。委員会の委員の定数は10人以内で任期は3年です。委員会の任務は、町長の諮問に応じて、町の行政全般にわたり、その効率化の推進に関する事項を調査審議することとなっています。



# 平成19年度与謝野町消防団町長査閲 町長に訓練の成果を披露



消防団の日頃の訓練内容や成果を町長に披露する「平成19年度与謝野町消防団町長査閲」が7月8日、野田川グラウンドで行われ、5月下旬から重ねてきた訓練の成果が披露されました。

今回の町長査閲は、与謝野町消防団発足以来初めて開催されるもので、全団員が各方面隊で非常時に備え、変則的に参集し、服装点検、機械器具点検を皮切りに、各個訓練、小隊訓練、中隊訓練、操法訓練が披露されました。



## 各個訓練

各個訓練を行うひまわりふれ愛隊(女性消防隊)。各個訓練は、消防団員としての基本動作を身に付け、部隊訓練の基礎をつくるもので、規律厳正な訓練が披露されました



## 中隊訓練

岩滝第2・第3分団、野田川第5分団、加悦第2分団の3小隊で中隊を編成し、中隊長(指揮者)の号令のもと、一糸乱れぬ訓練が披露されました



## 操法訓練

昨年は全国大会にも出場した操法訓練の様子。小型ポンプ操法とポンプ車操法が実施され、迅速で的確なホース延長、ポンプ操作が披露されました



## 与謝野町を京都駅ビルでP R

与謝野町の観光P Rと与謝野町優良産品を展示販売する「与謝野自慢」七夕に会いましょう」が七月七日、八日の両日、京都駅ビルにある京都府観光情報センターで行われました。

会場には、「ひまわり十五万本」イベントをP Rするポスターや観光パンフレットをはじめ、四十種類を超える優良産品が所狭しと陳列されました。



## みんなの交通安全を願って

岩屋区の交通安全対策委員の呼びかけに区が協力して、区内のカーブミラー清掃が七月二十一日に行われ、この日は、汚れや曇りで見えにくくなっているものを中心に洗剤や水で洗い流しました。



↑岩屋区長、区役員2人、交通安全対策委員2人で清掃しました

## おめでとう！中村有希さん 全国大会6位入賞



↑喜びの表情を見せてくれました

先月号で全国大会出場を紹介した中村有希さん(岩滝小六年・弓木)の結果が届きました。七月二十八日に大阪市長居陸上競技場で開催された「日清食品カップ第二十三回全国小学生陸上競技交流大会」の女子八十歳ハードルに出場し、見事六位入賞を果たしました。



↑女子80mハードル決勝の模様。中央で力走する中村さん

決勝レース進出を目標に週3日の練習を重ねてきた中村さんは、予選、準決勝とも一位で通過。特に準決勝では、自己新(13秒18)をマークしての念願の決勝進出となりました。「みんな強そうに見えるけど、自信を持ってレースに望めた」という中村さん。各都道府県での予選会を勝ち抜いた代表の中で六位という結果に「練習の成果がでた」と喜びの声を聞かせてくれました。

次の目標は「中学校でも陸上を続け、同じ種目で全国大会出場の実績を持つ二つ上の姉(知佳さん)と姉妹対決すること」と話す中村さんの今後の活躍からも目が離せません。

## 全国大会でがんばってきます！



↑町長に出場報告する生徒たち。気になる結果については次号でお知らせします

今夏全国大会に出場する加悦谷高校の生徒が七月二十日、町長を訪問し、健闘を誓いました。

▽ウエイトリフティング部  
関野祐太君(三年)  
大村祐之君(三年)  
前田拓哉君(三年)  
小林克己君(二年)  
坂本文弥君(二年)  
吉田雄三君(二年)

▽陸上部  
本田菜衣さん(三年)

▽囲碁部  
堀井邦稔君(二年)  
西村航君(二年)  
深田賢吾君(二年)

皆さんのご活躍を期待します。

## 京都の文化や産業にふれる

参加した四十人の外国籍府民と、地元に通訳スタッフ二十五人は、ちりめん街道の古い町並みを散策し、旧尾藤家住宅や丹後ちりめんの工場を見学。



↑ちりめん街道を散策する参加者と通訳スタッフ

## 遺跡整備をまちづくりに活かす



↑シンポジウムでは、全国の遺跡整備の様々な事例が発表されました

史跡の整備に関する調査研究と文化財の保護・活用を進める全国の市町村が加盟する全国史跡整備市町村協議会の近畿地区協議会が七月十二日、知遊館で開催されました。

「これからの遺跡整備 未来への提言」と題したシンポジウムで、宗田好史(むねたけよし)氏から「これからの遺跡整備は住民の人たちの協力なしには出来ない。まちづくりの中でどのように活かしていくかが大切」との提言がありました。

# 毎年9月1日は「防災の日」、 8月30日～9月5日は「防災週間」です

近年、全国各地で地震、台風、集中豪雨などによって多種多様な災害が発生しています。災害の未然防止と被害軽減のため、この防災週間を機に、次のような点に注意し、災害に対する備えを行ってください。また、今年度から新たな防災情報がスタートします。被害を最小限に食い止める情報としてご利用ください。

- 日常的に家屋の点検と補強をしましょう。
- 耐震金具を利用して、家具の転倒・落下を防止しましょう。
- 洪水避難地図（ハザードマップ）を参考に、自分が住んでいる地域の危険情報を十分理解しましょう。
- 家族で最寄りの避難所を確認し、避難経路についても災害別に相談しておきましょう。
- 災害情報の入手先を確認しておきましょう。
- 家族全員がわかる場所に非常持ち出し品を用意しておきましょう。
- いざというとき頼りになるのは、隣近所の助け合いです。高齢者や子ども、障害者、傷病者など、何らかの手助けが必要な人を災害から守るため、地域みんなで協力しましょう。

## 風水害編

### 6月にスタートした「土砂災害警戒情報」とは

近年多発する土砂災害による被害防止、軽減を目的に、京都府と京都地方気象台では、6月1日から、大雨による土砂災害の危険度が高まった場合、市町村単位に「土砂災害警戒情報」の発表を始めました。

この情報は、京都地方気象台から市町村へ伝達されるとともに、報道機関（テレビやラジオ）やインターネットを通じて、広く町民の皆さんにもお知らせされ、市町村の避難勧告などの防災活動や、自主避難の判断材料の一つとして提供されます。

警戒情報が出たら、土砂災害が発生しやすくなっていますので、山際にお住まいの方は、警戒を強めてください。町からの防災情報には十分注意し、避難勧告等が発令された場合は、速やかに指示に従ってください。

## 地震編

### 10月にスタートする「緊急地震速報」とは

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を、強い揺れが来る前にお知らせするものです。

運用が開始されれば、NHKのテレビ・ラジオなどで緊急地震速報が放送されます。この情報を利用して列車やエレベーターをすばやく制御させて危険を回避したり、工場、職場、家庭などで避難行動をとることによって、被害を軽減させたりすることが期待されます。

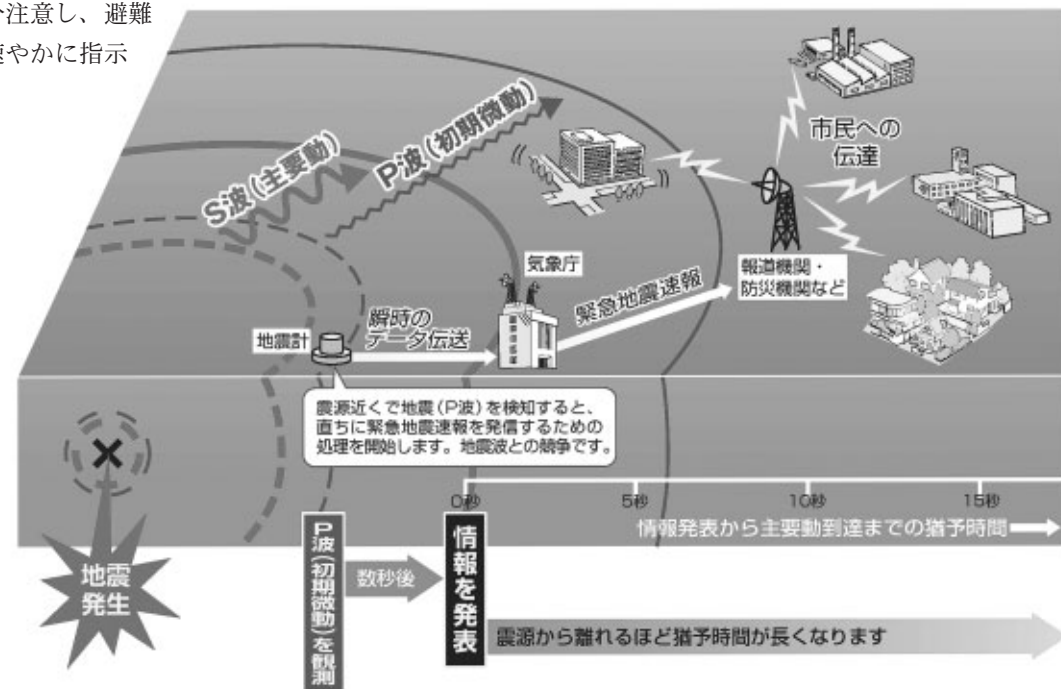
◆ 気象庁HP（緊急地震速報について）

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

## 緊急地震速報の仕組み

○「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に、すばやくお知らせします。

○ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



初回

もの忘れがひどくなつていくことが気にかかります。数字に関係していることを特に忘れます。まだ人の顔は分かりますがそのうち分からなくなるのではと不安になります。

Bさんの作文

もの忘れ予防教室に参加させていただいて今まで全然お出合いしなかった友達と友だちになれてよかったです。予防できたかどうかはあやしいですけど、とても楽しい集いでした。今回一緒にさせていただいた方とどこかでひよっこりお出合いすることがあったらうれしいうらなと思います。いろいろ考えていただいてありがとうございます。

初回

私は年をとりました。かなしいです。

Aさんの作文

今日はもの忘れ予防教室最終日です。職員の皆様おつれになりありがとうございます。また機会がありましたらよろしくお願致します。

最終回



## ◎年々ともい...

年とともに「あれ、何だったかな」と、もの忘れが気になり始め、認知症への不安も大きくなります。そんな時、「しつかりせな」と周りの人から言われたりすると、余計に悲しい気持ちになります。

上の作文は、もの忘れ予防教室の参加者に「この頃思うこと」と題し、初回と最終回に書いてもらったもので、初回の作文からは、そんな不安な気持ち、悲しい気持ちが伝わってきます。

一方、週一回、三カ月間教室に参加した後の最終回の作文からは、気持ちが明るく変化の様子が感じられます。

## ◎楽しいもの忘れ予防教室

もの忘れ予防教室では、手遊びやリズム遊びなどの楽しいゲームをしたり、頭文字ゲームや広告パズルで頭を使ったり、一週間の出来事やその日の教室を回想したりします。毎週同じゲームを行います。参加者一人ひとり、得意種目

や不得意種目があり、同じところで失敗しても、それが楽しくお腹の底から大笑いします。

参加者からは「楽しかった」「自信がもてた」「多くの人と知り合うことができた」「できなくても大丈夫と思えるようになった」と感想が聞かれます。

また、「教室から帰ってきた日はものすごく楽しそうにしている」「しつかりしてきた」という家族からの声や、周りの人からは「会話が続き

## ◎教室で認知症予防を

まだまだ大丈夫と思っていられるうちから、教室に参加し、認知症予防のコツを体験してみませんか。

もの忘れ予防教室へのご案内は、介護予防健診（六十五歳以上の基本健診受診者）を受診し、「生活機能の低下」が認められた方内、認知症の項目に該当した方にご案内いたします。

対象となる方には、今年度の総合健診結果相談会のご案内でしたが、相談会に来ていない方で、介護予防健診結果通知書のアドバイス欄に「もの忘れ予防教室をおすすめします」とコメントがある場合は、ぜひご参加ください。

もの忘れ予防教室は、八月から岩滝保健センターで、十一月からは加悦保健センターで実施します。



子どもたちはかわいいです。特に、子どもたちの食事している姿です。毎日給食がうれしくておいしく食べている子もいるし、食べるのをためらう子どももいます。私が今まで何回も幼稚園や保育所や小学校などを訪ねた中で、子どもたちを見ていると私自身の幼い時の食事にまつわるエピソードを思い出しました。

幼い時は、台湾の保育園で日本の子どもたちのように、教室かホールの決まった席で給食を食べました。しかし、食べ終わるのはクラスの中で、私がいつも一番遅かったです。5人家族の中でも私が一番遅く「ハリーは食べることを嫌がるようにご飯を食べた」と周りの人に言われました。今の幼稚園の子どもより行儀が悪く、食事中にうろうろして、いつも叱られていました。そういうわけで、私が今は母やお世話になった先生たちに「ごめんなさい」と謝りたいです。ですから、子どもたち（特に幼稚園児）を見ると子どもの気持ちを懐かしく思うし、今は大人の大変さもわかってきたつもりです。

5歳になって私はカナダに移住しました。私の思い出では、カナダには給食がなく、毎日母がお弁当を用

意してくれました。お弁当は日本の子どもたちのようにいろいろなおかずがあるお弁当ではなく、ただ普通のピーナッツバターサンドウィッチか、クラッカーとチーズというものでした。さらに、カナダでは、「食べなさい」という指導者がいなくて、自分の好きなように食べました。これは、私にとって不思議な感じがしました。食べたくなかったら、持って帰っても良いし、捨てても良く、全部私が決めてよかったのです。私は食べ物を捨てることは罪悪感があるし、持って帰ったら母に叱られるから、結局残さずに食べることができました。



↑岩屋保育所の園児たちと給食を食べています

カナダの子どもたちは学校での食事方法を自分で決めることができます。これは日本や台湾と比べたら、少し違うでしょう。欧米では、幼い時から、選択の自由をさせられましたが、このせいで、好き嫌いをするくせができてしまいます。逆に、台湾や、日本は、

子どもたちのバランスを考えているから、幼い時からいろいろな食事を食べて、この習慣で健康が保てるのだと思います。子どもの教育の面からみたら、選択の自由として決めさせてあげようか、いろいろなことを試させようか、どっちのほうがいいか、考えてみるのも良い機会ではないでしょうか。

時の贈り物 [第16回]

まちの文化財



↑石仏や五輪塔の状況

幾地区には、たくさん板碑や五輪塔などが立ち並ぶ、中世(十二世紀〜十六世紀)の墓地跡、地蔵山遺跡があります。岩屋川に向かって張り出した尾根全域が墓地になっており、尾根の前面に数十もの平らな場所を作って板碑などを並べています。板碑に彫られている仏様がたくさんある「地蔵さんの山」ということから「地蔵山」と呼ばれています。遺跡に立ち並ぶ石造物には、五輪塔や宝篋印塔のように形の違う石を積み重ねたものや、板碑のように板状の石に仏を彫刻したものなどがあります。中には文政二十八年(一四七〇)の年号のある宝篋印塔もあります。

◎地蔵山遺跡

—中世の墓地が現存する遺跡—



↑4基立ち並ぶ五輪塔

中世のお墓がほとんど完全に残っており、たいへん貴重というところで、昭和六十二年十月十二日に町指定文化財に指定しています。地元有志の地蔵山遺跡保存会は、何十年もの間守り続けられてきた地蔵山遺跡をたくさんの方に見てもらおうと、現在、もみじや山ツツジの植栽をしております。(与謝野町教育委員会)

今月のオススメの一冊

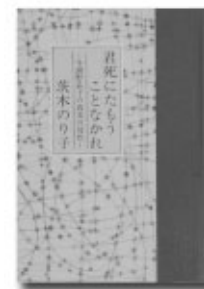
与謝野町立図書館 (知遊館 1階) TEL 46-2451  
加悦分室 (加悦地域公民館 2階) TEL 43-0376  
野田川分室 (町中央公民館 1階) TEL 43-0087

▼一般書



『裁判長!これで執行猶予は甘くないですか?』  
北尾トロ/著  
文藝春秋

2009年までに施行される裁判員制度を前に、裁判は自分とは全く関係ないとは言えなくなっています。裁判とはどのように行なわれているのかを軽いタッチで描いています。法廷での悲喜こもごもの人間模様は、大変興味深く、今まで遠い存在であった裁判への関心を持たせてくれる本です。



『君死にたもうことなかれ 与謝野晶子の真実の母性』  
茨城のり子/著  
童話屋

恋はみだらなものとされていた明治時代に、恋愛賛歌である『みだれ髪』を発表した与謝野晶子。詩人である著者が、晶子が残した詩や文章を読み返しながら、自身の生き方と重ねつつその生涯を描き、詩人としての女性としての生き方への尊敬が、やさしい語り口調で綴られています。

▼児童書



『ミサコの被爆ピアノ』  
松谷みよ子/文 木内達朗/絵  
講談社

1945年8月6日、爆心地より1.8キロの地点で、1台のアップライトピアノが被爆しました。ずっと弾かれないままだったピアノは今、原爆の恐ろしさ、悲しさを伝えるために全国各地で音を響かせています。長年にわたり戦争を見つめてきた作家が書き下ろした、平和を願う物語です。



『祇園精舎(声にだすえほん)』  
山本孝/絵 斎藤孝/編  
ほるぷ出版

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」ではじまる平家物語。最も有名な暗誦の定番が絵本になりました。声にだして読みながら、迫力あふれる絵を見てみると、当時の琵琶法師の語り魅せられて、観客たちが物語を楽しんでいるイメージが膨らんでくる絵本です。

▼新着図書

【一般書】●『いますぐ読みたい! <新時代>作家ファイル100』小峰慎也/明治書院 ●『筋トレバイブル 小・中・高校生編』有賀誠司/ベースボールマガジン社 ●『旅する絵描き パリからの手紙』伊勢英子/平凡社 ●『午前零時』鈴木光司/新潮社 ●『ありがとう、さようなら』瀬尾まいこ/メディアファクトリー

【児童書】●『超っこいい! 男の子の手作り自由工作BOOK』近藤芳弘/主婦と生活社 ●『かいけつゾロリたべろぜ! 大ぐいせんしゅけん』原ゆたか/ポプラ社 ●『やまんばあさんのむかしむかし』富安陽子 作 大島妙子 絵/小学館 ●『ミッドナイトス1』スコット・ウェスターフェルド/東京書籍



図書館からのお知らせ  
開館時間  
午前10時〜午後6時  
休館日  
本館・加悦分室(毎週月曜)  
野田川分室(毎週火曜)  
共通(毎月最終木曜)  
おはなし会のお知らせ  
本館  
九月一日(土)  
①午前10時30分〜  
②午後三時〜  
野田川分室  
八月十八日(土)午後三時〜  
加悦分室  
八月十一日(土)午後三時〜  
八月二十五日(土)午後三時〜

- 与謝野町役場**  
☎46-3001(代表)
- 岩滝地域振興課**  
☎46-3002  
総務課  
☎46-3003  
総務課(消防安全係)  
☎46-3004  
企画財政課  
☎46-3084  
企画財政課(情報システム係)  
☎46-3085  
建設課  
☎46-3267  
商工観光課  
☎46-3269  
会計室  
☎46-3007
- 野田川庁舎**  
☎44-2081(代表)
- 野田川地域振興課**  
☎44-2082  
住民環境課  
☎44-2083  
税務課  
☎44-2084  
水道課  
☎44-2085  
下水道課  
☎44-2086
- 加悦庁舎**  
☎43-1511(代表)
- 加悦地域振興課**  
☎43-1512  
福祉課  
☎43-1513  
保健課  
☎43-1514  
農林課  
☎43-2191  
議会事務局  
☎43-0215  
教育委員会 教育総務課  
☎43-2192  
教育委員会 教育推進課  
☎43-2193


**知遊館映画会** **入場無料**  
まぶたはは「**瞼の母**」  
8/25(土) 13:30開場 14:00開演  
知遊館あじさいホール

昔なつかしい無声映画で弁士と楽士による迫力ある活弁ライブをお楽しみいただけます。作品は与謝野町にゆかりのある作家長谷川伸の名作「瞼の母」です。

●上演内容  
弁士・楽士つきの無声映画「瞼の母」  
原作：長谷川 伸  
監督・脚本：稲垣 浩  
出演：片岡千恵蔵・山田五十鈴 他

●整理券について  
入場は無料ですが整理券が必要です。整理券は8月7日(火)から知遊館、中央公民館、加悦地域公民館、各地域振興課で取り扱います。

●問い合わせ先  
生涯学習センター知遊館  
☎46-2451



YOSANO 夏イルミネーション  
**星夏彩** せいかさい  
つなげよう ひろげよう 心を! 灯かりを!

●点灯期間  
8/5(日)~9/1(土)  
19:00~24:00

●会場  
阿蘇シーサイドパーク

●内容  
天橋立を望む阿蘇シーサイドパークに、約10万個のイルミネーションが光り輝きます。光のファンタジーをお楽しみください。

【点灯式】8/12(日) 19:40~

●主催  
岩滝町商工会青年部 ☎46-3505

「岩滝納涼フェスティバル」も8/12(日)16:00から、阿蘇シーサイドパークで開催

**2007 野田川万燈**  
— FINAL —

●開催日  
8/26(日) 17:00~  
【万燈点火】19:30~  
【花火打ち上げ】20:30~

●会場  
野田川わくぱる周辺

●内容  
ライブパフォーマンス、模擬店・バザーなど各種イベントが盛りだくさんです。

●主催  
2007 野田川万燈実行委員会  
(野田川町商工会内)  
☎43-1020



夏の思い出をいっしょに作りませんか

**図書館長就任**

与謝野町立図書館長に、7月1日付けで、塩見裕さん(上山田)が就任しましたのでお知らせします。



↑与謝野町立図書館長に就任した塩見裕さん

**与謝野町町民憲章制定委員会が発足**

与謝野町のシンボルづくり事業の一環として、昨年は「町の花」「町の木」「町の歌」を選定しました。

今年度は、町の将来像「水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち」を目指して、町民としての自覚と誇りを持ち、明るい希望に満ちた思いやりのあるまちづくりを推進するために「与謝野町町民憲章」を制定します。

その第1回目の制定委員会が7月19日、岩滝保健センターで開催され、各種団体等から選ばれた13人の委員の皆さんに、太田町長から委嘱状が手渡され、委員長に坂根學さん(四辻)を、副委員長として上田清美さん(加悦)を選出しました。



↑第1回目の制定委員会の様子


※委員順不同敬称略	堀口卓也	白杉直久	谷口義明	茂籠武下	松尾孝四	赤松孝一	芋田保三	須田芳一	安岡孝子	西原宏与	井田義之	上田清美	坂根學	町民憲章制定委員
-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	----------

**京都府と市町村が共同で税金の滞納整理を実施します**

京都府では、平成19年度から税務共同化の取り組みとして、8月1日から府内25市町村(京都市除く)等と共同で、府税や市町村税の大口滞納者に対して、滞納整理を実施します。これだけの規模で実施される共同滞納整理は全国初の取り組みとなります。

期間は平成19年8月から平成20年3月末までで、広域振興局を拠点として、税の徴収作業を行い、より一層公平公正で、効率的な税務行政を目指します。

この共同の取り組みに伴い、与謝野町からは2人の職員が府職員を併任し、京都府からは6人の職員が与謝野町職員を併任することになり、8月1日に与謝野町役場で併任の辞令交付が行われました。




↑併任辞令交付の様子。太田町長から府職員6人に与謝野町職員としての辞令が交付されました

**人事異動**

8月1日付けで、職員人事異動がありましたのでお知らせします。(括弧内は異動前)

●野田川地域振興課  
課長補佐 ながしま えいさく 長島 栄作  
(野田川地域振興課係長)

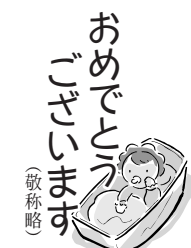


この欄で紹介する出生とお悔やみは、6月16日から7月15日までの届け出分です。役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している  
広報誌には掲載しています



町内に配付している  
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・  
平成19年6月末現在  
人口 25,476人 (-35)  
男 12,043人 (-20)  
女 13,433人 (-15)  
世帯数 9,000戸 (+3)